

「日中はカーテンを開ける」「入浴は間隔を空けない」住まいの工夫で冬も省エネ 標準家庭の半分以下のエネルギーで暮らす山口県の家族の事例

～ポイントはエネルギーの“断捨離”。“それ、本当に必要？”と問い直したら、暮らしが変わった～

住宅建築実務者への研修事業等を通して家庭での省エネを目指す一般社団法人 Forward to 1985 energy life（所在地：埼玉県さいたま市、代表理事：野池政宏、会員数：200 法人）では、現在の約半分（1985 年当時）のエネルギー消費量・電力消費量で暮らす家庭を「1985 家族」と呼び、地域拠点である工務店や「1985 アクションナビ」※1を通じて、その普及をサポートしています。山口県岩国市の K 邸は、昨年 12～2 月のエネルギー消費量が同地域・同家族人数の家庭の平均に比べ、約 45%と半分以下（次頁参考資料参照）。建物の性能に加え、エネルギーの「断捨離」で楽しみながら住まい方を工夫されています。

※1 自宅の電気・ガス・灯油の消費量と発電量を登録すると、同じ家族人数・同じ地域の家庭のエネルギー消費量と比較できたり、省エネ達成度を判定できたりするポータルサイト。当法人にて運営。https://econaviom.net/an/ActionNavi/

高気密・高断熱、採光で、家全体をムラなく暖める

共働きの夫婦と、高校生長女、中学生長男、小学生次女の 5 人家族が住む K 邸は、2013 年 3 月に当法人会員の中川建設株式会社（本店：山口県岩国市、モデルルーム兼事務所：広島県大竹市）が施工した 2 階建木造一戸建ての邸宅。南面の大きな窓・吹き抜けからの自然光がリビング中央部まで行き渡り、電気なしでも十分に明るい空間です。また、建物全体がほぼワンルームに近いので、家族が個室にこもることがなく、エネルギー消費量が抑えられる設計になっています。引き渡しの際には、季節・時間帯によって開ける窓・閉める窓を伝える「風向シール」を設置し、より快適に省エネ生活ができるアドバイスも実施しました。



リビング中央部まで南面の大きな窓・吹き抜けからの自然光が行き渡る。建物全体がほぼワンルームのコンパクトな設計。エネルギー消費量が抑えられるだけでなく、家族が集まりやすく、導線もスムーズ。

エネルギーの無駄を見直し、丁寧に暮らす

その上、徹底しているのが K さんの住まい方。①冬の日中はカーテンを開けて日射を取り入れ家全体を暖め、暖房はエアコンを夜寒い時間に使うだけ。②入浴時の設定温度を冬は 40℃、湯量を 10 目盛りのうちの 4 目盛りまでにし、家族がなるべく間隔を空けずに入る。③「その家電、本当に必要？」と一つ一つ問い直し、キッチンに以前あったトースターは「ガスコンロのグリルで足りる」と処分、掃除は雑巾がけが基本（コンパクトな空間のため雑巾がけが苦にならない）、意味もなくなぎつぱなしのコンセントはなくす、など、暮らし方を見直されています。

K さんいわく、「ポイントは断捨離と同じ。省エネだと『そのくらい』、断捨離だと『いつか使うかも』という気持ちを持つと前に進めないの、『その家電、本当に必要？』と確認しながら購入したり使ったりしています」とのこと。

当法人では、今後も、住宅のエネルギー・温熱環境に関する専門知識・技術を住宅設計実務者に普及するだけでなく、「1985 アクションナビ」や、地域密着の工務店を通じて、一般生活者が実践できる省エネの工夫を蓄積・発信し、気候変動やエネルギー問題の解決に貢献していきます。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

一般社団法人 Forward to 1985 energy life 広報担当 服部（はっとり）

〒336-0932 埼玉県さいたま市緑区中尾 1250-7 ホームページ: <http://to1985.net/>

TEL: 048-637-1116 FAX: 048-717-7444 Eメール: jimukyoku@to1985.net

◆参考資料◆

●本事例の詳細 ※本リリースで紹介した事例は、ご取材いただけます。

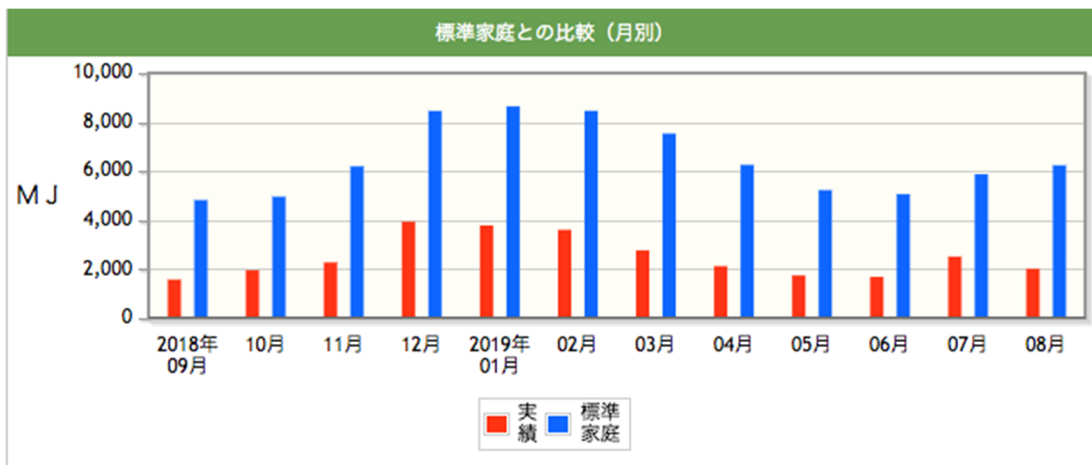


電気をつけなくても隔々まで明るいリビング。子どもは冬でも裸足で過ごす。2階はコンセントが差したままの家電がほとんどない。
台所では圧力鍋が大活躍。圧力鍋を使用すると、普通の鍋より35%もエネルギーを節約できる。

所在地：
主用途：専用住宅 築6年
構造・階数：

家族構成：夫婦と子ども2人
施工期間：2012年11月から
2013年3月

【1985アクションナビより。月別エネルギー消費量比較】 ※赤がK邸、青が標準家庭



◆施工会社 中川建設株式会社 概要

昭和 27 年創業の地元密着の工務店。モデルハウスのある広島県・山口県にて多数の実績を持つ。広島・山口の瀬戸内の風土に合った良質な家づくりを展開している。

<http://www.nakagawa-wagokoro.com/>

社名	中川建設株式会社
所在地	本店 〒741-0082 山口県岩国市川西 4 丁目 8 モデルハウス・事務所 〒739-0657 広島県大竹市松ヶ原町 434-1
代表理事	西本浩司
設立	昭和 39 年 1 月 29 日法人設立（昭和 27 年創業）
事業内容	木造住宅（新築・リフォーム）・設計・デザイン・施工 建設許可 山口県知事許可（般-29）第 2551 号 一級建築士事務所登録 山口県知事登録 第 G1191 号

◆ 法人概要

当法人は、家庭での消費エネルギーを現在の約半分、1985 年レベルに削減することを目指し、住宅建築実務者に向け、省エネ住宅に関する知識・専門技術を伝える活動に取り組んでいます。生活者に省エネのアドバイスができる人材を育成する「暮らし省エネマイスター検定」を実施しており、マイスターがいる地域拠点は全国 157（東北 1、関東 32、東海 37、甲信越・北陸 14、関西 27、中国 22、四国 13、九州 11）拠点に達しています。

社名	一般社団法人 Forward to 1985 energy life
所在地	〒336-0932 埼玉県さいたま市緑区中尾 1250-7
代表理事	野池政宏
設立	2012 年
事業内容	省エネルギー社会構築のために必要な調査・研究 消費者・住宅建設業界への 1985 アクションの推進 消費者・住宅建設業界への省エネルギー手法の提供 省エネルギーアドバイザー育成のための出版物の刊行 地域省エネルギーアドバイザー拠点制度の確立、運営 行政機関及び住宅建設関係団体、省エネルギー関係団体等との連携 その他、当法人の目的を達成するために必要な事業